

東沙林老母の事

一 是年東沙林三宮寺傳宗長と交し、東沙林集人進り男

にて十三歳の初陣の時山形に捕ふれ、来り、処を宍

戸端西員破庵とてあるも文武に達し、水に情まをむ、東沙

林一家も終に和睦し、山形に引去られ、十五歳の時より修

理大夫殿に仕へ、お相殿も元もをれ、孝長五年、金津勢

お入の時も、赤江の中陣を、却敵し、毎度敵陣方の目を驚かし

、水義光公の御覺他に、果あり、義康も水魚の思ひを、お

し、終に、は、度も、義光公、宣ひ、宗長、義康に、組せし、り、惜

きものありと、お、赤江の平におたり、宗長、老母は、るを